

指定管理者モニタリング報告書

指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日
施設名	直鞍産業振興センター 本館
所在地	直方市植木1245番地2
担当課	商工観光課
施設設置目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業、団体等の人材育成、情報交流等の活動を支援し、地域産業の振興を図るため設置。 ● EMCサイト利用、その他セミナーの開催。

評価期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	
指定管理者	名称 代表者	一般財団法人 直鞍情報・産業振興協会 理事長 秋吉 恭子
	所在	直方市植木1245番地2
利用制度	利用料金制度採用	
指定管理業務 の内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設等の受付・利用料金の收受等、利用に関する業務 ● 施設・設備・備品等の維持管理に関する業務 ● 情報提供・収集に関する業務 ● EMCの測定等に関する業務 	
モニタリング の実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 実地確認、事業計画書・事業報告書・業務仕様書・協定書の確認 ● 利用者アンケートによる確認 	

1. 業務の履行状況確認による評価

総合コメント	評価結果 ^{※1}
<p>適正な施設管理・運営が行われたかどうか。</p> <p>① 業務、業務の履行状況 月報・業務完了報告書、実地検査において概ね適正に実施されていることが確認された。 【参考】事業収支 41,375,363 円 ※長期計画上、機器更新時期によりマイナス収支になることがある。</p> <p>② 自主事業（提案内容）の実施状況 業務完了報告書において、適正に実施されていることが確認された。</p>	B

<p>③ 施設の管理状況</p> <p>業務完了報告書及び実地検査において、適正に管理されていることが確認された。</p>	
---	--

2. サービスの質的評価

総合コメント	評価結果 ^{※1}
<p>利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。</p> <p>① 基本的事項（ソフト面）</p> <p>申込み時スタッフ対応の満足度は「非常に良い・良い」合わせて約96%、利用時スタッフ対応の満足度においても「非常に良い・良い」合わせて約94%と、概ね満足度は高いと言える。</p> <p>試験報告書については満足度100%であり、非常に高い評価となっている。</p> <p>② 維持管理業務（施設面）</p> <p>利用者アンケートに維持管理業務に関する設問がないため、アンケート結果から維持・管理業務の実施状況を確認することは出来ないが、委託業者による清掃業務や館の維持・管理業務が定期的に行われていることは報告書で確認できている。</p> <p>また、自主的に施設職員が始業前の清掃を行っており、利用者から施設の維持・管理状況に関する苦情も出ていないことから、維持管理業務は適切に実施されていると判断できる。</p> <p>③ 自由意見</p> <p>自由意見欄に特に記載がなかったが、Webでの施設空き状況確認や、施設内の機器リストの閲覧を希望する意見を複数件いただいている。これまでの利用者の利便性向上だけに留まらず、新たな利用者獲得のため、サービス改善に取り組んでいただきたい。</p>	<h1>B</h1>

3. 指定管理者の業務遂行能力（財務関係）

総合コメント	評価結果※1
<p>適正な収支実績等のもとで、継続的・安定的にサービス提供がされているか。</p> <p>① 経営の健全性、継続性</p> <p>令和5年度決算は、収入において使用料収入が計画値を大幅に上回った。これに加え、測定機器の検査対象を必要最低限に絞り込んだことや、EMC測定サイトのメンテナンス日程が令和6年度にずれ込み、支出が最小限となったことから、結果として黒字決算となった。</p> <p>しかしながら、令和5年度に実施できなかったEMC測定サイトのメンテナンスや、定期的あるいは突発的な機器更新に備えた財務面の備えが一定程度必要な状況は、今後も継続する。</p> <p>外部委託費比率は計画値25.4%に対し、実績値14.3%となっており、実績値は計画値を下回っている。これは、検査対象の一部見直しや定期メンテナンスの翌年度に持ち越しに伴うものであるが、このこと自体は、EMC測定サイトの試験結果や施設運営に影響を及ぼしているものではないことから、実績値が下回っていることは特に問題ではないと判断できる。</p> <p>② 会計処理の状況</p> <p>年度終了後に事業報告書の提出を行っており、会計処理については適正に行われていることが確認できた。また、監査人による審査も受けており、経営状況については特段の指摘は受けていないことが確認できた。</p>	<h1>A</h1>

※Ⅱ 評価三項目の評価基準		チェックシートの評価結果
A	協定書等の基準を遵守し、目標、計画の水準を上回る管理運営がされている。	全てB以上で、且つ、Aが過半数以上である。
B	協定書等の基準を遵守し、目標、計画の水準を概ね達成する管理運営がされている。	全てC以上で、且つB以上が8割である。
C	協定書等の基準を概ね遵守しているが、一部に改善の要する課題がある。	全てC以上である。
D	協定書等の基準が遵守されておらず、改善を要する課題がある。	Dが含まれている。

4. 総合評価

モニタリング内容の総括	総合評価※2
<p>当館はEMC測定サイト、研修室やインキュベート室を備えた施設であり、多様な事業者が利用している。</p> <p>令和5年度は、令和2年度より続いていた新型コロナウイルス感染症が感染法上の分類が第5類に引き下げとなったことも起因し、当館の使用料収入は、コロナ禍以前の水準を取り戻している。</p> <p>EMC測定関連業務については、多くの専門知識・高度な技術が必要とされるが、指定管理受託職員は新たな知識習得のために自己研鑽し、新規顧客獲得のための営業活動を可能な限り行う等、収支の黒字化に向けた取り組みを積極的に行っている。</p> <p>研修室については、稼働率の低さが恒常的な課題となっているが、当該施設はEMC測定・産業振興業務に特化した施設であり、その趣旨に沿った研修室利用を目的としている。本館の主たる業務であるEMC測定サイトの稼働を維持することにより、研修室利用も一定維持されると考えられるため、研修室の稼働率の低さについては、問題ないと考えられる。</p> <p>施設の維持・管理においても定期的な修繕や清掃業務を実施しており、総合的に、財務面、維持・管理面ともに適正に運営されていることが確認された。</p> <p>今後、定期的な機器更新も計画されており、継続的に財務面での備えが必要とされている。また、Webによる施設予約の実施など、新規顧客の獲得につながるサービスに対する要望も出ていることから、改善が可能な項目から積極的に改善し、収支の黒字化継続に資する施設の管理・運営、サービスの提供に取り組んでいただきたい。</p>	<h1>B</h1>

※Ⅲ 総合評価の評価基準		評価三項目の評価結果
<p>A (優良)</p>	<p>優れていると認められる。</p>	<p>全てB以上で、且つ、Aが2つ以上である。</p>
<p>B (良好)</p>	<p>良好であると認められる。 ※軽微な改善点はあったが、速やかに改善され、適切であると判断されるものを含む。</p>	<p>全てB以上である。</p>
<p>C (課題含)</p>	<p>概ね適正であると認められる。 ※改善点があったが、改善策が講じられているものを含む。</p>	<p>Cが含まれている。</p>
<p>D (要改善)</p>	<p>改善が必要である。</p>	<p>Dが含まれている。</p>